

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

事業所名: #REF!

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	

事業所名: #REF!

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域運営推進会社等に町内会会長さんや民生委員の方への案内や、地域の高齢者の方々の相談等への協力対応可能である事の説明をおこなっています。</p>	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員会議や勉強会を通じ評価改善に活かせるよう努めています。</p>	○	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員、老人会会長等と懇談、会議を行い努力している</p>	○	地域とのお茶会を催すことになった
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の保護課、市社協の後見人と緊密に連携をとっているが、市町村担当者等の運営推進会議への参加などの課題がある</p>	△	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>関連セミナー実施時には積極的に参加し学んでいます。又、市の社会福祉協議会の行う金銭管理支援サービスを活用し利用者の権利擁護に努めています。</p>	○	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会等への参加に努め、受講後のスタッフミーティングで発表し職場で活かせるよう討論し防止に努めています。</p>	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には事前に見学して頂いたり、利用者やご家族の方の意見や要望、疑問点について伺い十分な説明を行っています 又、解約時には解約後のケアについても相談に応じる	○	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口を設置している。契約者、苦情受付BOXの設置などで外部の受付先も案内している	○	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時の報告やご家族が遠方者の方にはTELやホーム便りを通じ利用者の日常の暮らしぶりや健康状態をお伝えしています。	○	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部の相談機関として県、市、社協などの連絡先を掲示しています。又、面会時や家族会の際意見や苦情を伺える機会を設けています。	○	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議や日々の業務のなかで、意見を広く聞いて改善に努めている	○	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各ユニットごとに固定したスタッフを確保・常在させると共に移動スタッフも配置する事で確実な人材確保が行えるよう勤務ローテーションを組んでいます。	○	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニットごとに半数以上固定スタッフを置いている	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修を案内し、重要な研修は業務として行かせている	○	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会(谷山地区)に加入し、勉強会や交流の場を設けサービスの質の向上に反映出来るよう取り組んでいます。	○	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スーパーバイザー等の導入はないが、職員相互の親睦、悩みの聴取を受けたり、落ち着ける環境作りへの工夫に取り組んでいます。	○	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員が楽しく働けるように、職員の公私の諸問題も相談を受け、勤務状況もなるべく考慮している。	○	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人自身との面談により要望や悩み、かかえている不安等について聴取したり、医療機関の情報提供をいただき利用時に柔軟な対応が行え信頼関係が構築出来るよう努めています。	○	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の電話や相談に応じ、ご家族の意見や要望、かかえられている不安等を聴きいれ受け止める機会を設けたり、後見人制度への利用等のアドバイス等も行っています。	○	

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療機関の情報提供や介護認定時の認定調査票・主治医意見書(本人、ご家族の同意の下)の開示により管理者を交え検討、他のサービス利用も含めた対応に努めています	○	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な限り本人に見学して頂き、他の利用者とお茶を飲みながら交流し場の雰囲気に納得していただく工夫や馴染みの品・環境作りを行えるよう工夫しています。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を人生における先輩や家族として敬い、常に本人の立場で喜怒哀楽を共に共感し支えあう関係を築いています。	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の面会、ケア会議などを通じて、家族と連携を図り、色々な本人にまつわる事等へ参加してもらっている。病院受診、衣替え、墓参りなど	○	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会や電話対応の頻度に配慮しより良い家族関係が築けるよう支援しています。	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会訪問の依頼をお願いしたり、馴染みの場所への訪問にドライブや散歩コースとして取り入れ本人の思い出を大切にとらえ支援しています。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションや外出を通じ共通の趣味、興味等を引き出しそれぞれの特徴を把握することで利用者同士の関わり合いが円滑に行えるよう支援しています。	○	

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当ホームを退居され在宅復帰もしくは他の施設(病院、老健施設等)へ移転された後も利用者やご家族の相談窓口となり関係継続に努めおつきあいさせて頂いています。	○	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自身の思いや希望を取り入れ意向の把握に努めています。意思確認の困難な方には、家族からの情報を元に検討させて頂いています。	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報提供や家族、本人からの情報により、これまでのサービス利用の経過の把握に努めています。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その時々により心身状態、活動力、日々の過ごし方に変動が見られるので日常の状況を常に把握し、総合援助につなげられるよう努めています。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一人ひとりの担当ケアワーカーを立てケアに当たると共に、本人、家族、主治医等、必要な関係者との話し合いを設け、それぞれの意見やアイデアを反映させた介護計画を作成しています。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎のケアプラン評価、6ヶ月毎の評価見直しはもちろん、1ヶ月毎に担当ケアワーカーによるモニタリング評価を元に、必要に応じ現状に即した対応が行えるよう家族や関係者を交え、話し合い新たな計画を作成しています。	○	

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録によるケアの実践や結果、工夫、気付の情報を共有し 日々の介護計画の見直しに活かしています。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本来家族が行う各種手続きや、物品購入などさまざまな場面で、家族の年齢なども考慮して柔軟な対応に努めている。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	市保護課、市社協、などと本人の状態に合わせて協議対応している。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や状態の必要性に応じ、在宅マッサージ、フットケアのサービス利用等の支援を行っています。	○	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターとの協働は在宅の認知症の情報を通じて行っているがそれ以外があまりない	△	こちらから働きかけていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の基礎疾患や病状及び希望をうかがい、納得の得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切でより良い医療を受けられるよう支援しています。	○	

グループホーム

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常に相談し、利用者の日常情報を提供しながら診断、治療を受けられるよう支援しています。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	各ユニットにいる看護師資格を持った職員に常に相談している	○	
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	主治医や担当看護師、ソーシャルワーカーとの連携を図っています。	○	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時における緊急時、重度化、終末期のあり方について本人や家族、かかりつけ医と話し合い、方針の共有が行えるようにしています。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意向を受け入れた上で、事業所の「出来る事、出来ない事」を見極め、本人、家族への誤った負担が生じることのないようかかりつけ医と共に取り組み、今後の変化等に備えての検討や準備を行えるようにしています。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前の情報提供や住居移住先関係者はもちろん家族及び本人との十分な話し合いを行い、新しい環境によるダメージ予防に努めています。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	十分に配慮した言葉かけや対応を行っています。	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	それぞれの希望、要望が表出できるよう日常の表情や感情をくみ取り、本人の判断、意思決定を尊重し納得した暮らしが送れるような支援に努めています。	○	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の日課としてのスケジュールはあるが、個人個人の体調やペースに応じた生活を尊重、優先し過ごしていただけるよう支援しています。	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	それぞれの好みを優先し衣類の選択、身だしなみを支援し、理容、美容は馴染みの店を利用したり、訪問サービスを利用する際は個人の要望に沿ったカットをしていただけるよう仲介しています。	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養管理に留意しながらもそれぞれの好みや咀嚼、嚥下状態にあわせた調理で食への楽しみが維持でき、簡単に参加できる調理補助、下膳、片付け等個々の持てる力を活かしています。	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコに関してはホーム施設内禁煙としている為支援できない状態ですが、お酒(晩酌や催し時)は主治医の許可を得て取り入れ、おやつや飲み物等も身体状況に応じ楽しめるよう支援しています。	○	

グループホーム

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日常の排泄リズムを把握しトイレで気持ちよく排泄行為できるよう支援しています。又、本人の希望によりリハビリパンツの着用切望の方には意思をくみとり着用していただきながら、失敗のないよう誘導したり、居室位置の配慮する等工夫しています。	○	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯に関しては見守りや事故防止の為ホーム指定の時間となりますが、曜日や回数については一人ひとりの希望やタイミングに合わせ楽しめるよう支援しています。	○	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠や休息が安心して取れるよう居室内の配置替えや一人ひとりの生活習慣、その時々状況に応じた対応が行えるよう支援しています。	○	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内活動でも一人ひとりの役割を持っていただく事で張り合いや自信をつけていただいたり、趣味や楽しみを取り入れ気晴らしにつながられるよう支援しています。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの力に応じて自己管理(お金の所持)していただける場合は所持していただきます。物盗られ症状の強い方にはホームにて管理し外出時やお買い物時に使っていただいています。	△	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の公園へのお散歩やドライブ、お買い物を通じその時々希望にそい出掛けられるよう支援しています。	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	インフルエンザ感染時期の外出は控えていますがその他は月1回の野外レクリエーション(全員参加)実施又は、個別でのお墓参り、海岸へのお出かけ等の機会をつくり支援しています。	○	

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時節(年賀、暑中見舞い等)の挨拶にハガキを出したり、電話でのやり取りができるよう支援しています。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時には気兼ねなくお話していただけるよう居室内の装飾工夫をしたり、面会・訪問の時間制限なく対応できるように支援しています。	○	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束ゼロ」の介護をモットーとし、それに伴う転倒事故、危険行動予防についての定期的な勉強会を行い、身体拘束のないケアに取り組んでいます。	○	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	通状日中の玄関への鍵はかけないが、入居者の身体状況によりやむなく鍵をかける事もあります。(表に交通量の激しい道路が面しており、建物横のT字路での交通事故多発の為)	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個人個人のプライバシーに配慮しながら利用者の様子や所在の把握、安全確保に努めています。	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	それぞれの認知判断力に応じ対応しています。(裁縫が趣味の方は針の本数、ハサミ等の確認を行い危険予防に取り組んでいます。)	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態を把握し危険因子となりうる事を常に想定した対応が出来る様勉強しています。	○	

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時や事故発生時の対策マニュアルを作成し応急手当や初期対応の勉強会を行っています。	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防分遣隊と密接に連携して防災訓練を行っている。	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	定期的なサービス担当会を実施し利用者の現状状況、今後のおこりうるリスクについてご家族への説明、対応策等についても随時話し合っています。	○	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、食事摂取量、水分摂取量、排泄チェック、顔色などにより異常の早期発見に努め、速やかな対応に結び付けています。	○	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフそれぞれが入居者一人ひとりの内服薬の目的、副作用、容量等について気をつけ、主治医の指示どおりに服薬支援し、症状の変化確認に努めています。	○	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便通の良い食事やおやつを提供、腸蠕動運動への働きかけや歩行練習、トイレでの排泄習慣への取り組み等工夫しています。	○	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行い磨き残しや歯周病の予防に取り組み、必要に応じ歯科医師の訪問診療や定期健診、口腔ケア指導を受け口腔内の清潔保持及び口腔ケアの必要性について理解し支援しています。	○	

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医の意見や食習慣を聞き一人ひとりの状態や能力に応じた食事形態、量、水分量が確保出来る様支援しています。又、管理栄養士による栄養指導を受け、カロリー計算にそう食事の提供をおこなえるようつとめています。	○	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルを作成し対応、実行しています。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の調理場や調理道具の衛生管理、冷蔵庫内の温度管理はもちろん新鮮で安全な食材の使用、調理法に努めています。	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	小さいながらも花壇を作り草花を植えたり、プランターを利用した家庭菜園を施し、親しみやすく、安心して出入りできるよう工夫しています。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には自由に過ごせ、不快な音や光を受けないう配慮し、生活感や季節感を感じる水槽や花、観葉植物、装飾等を施し、心地よく過ごせるよう工夫しています。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファーやミニテーブル、椅子のコーナーがあり、思い思いに過ごせる居場所の工夫、確保を行っています。	○	

グループホーム

事業所名: #REF!

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはカレンダーや写真等を飾ったり、使い慣れた家具、備品が持ち込まれ、安心して過ごせる環境を提供させていただいていると思います。	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房の温度調節は天気や時間、利用者の体調によってまめに調節したり、空気のだよみや臭いには換気を行い、場所に応じ消臭剤や気持ちの落ち着けるお香、アロマオイル等を用いています。	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活導線に配慮し安全で自立した生活が送れるよう手摺りや歩行訓練用の平行棒を設置し、一人ひとりの身体機能を活かせるよう工夫しています。	○	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室にはそれぞれ花の名前と本人の写真・名前が明記しており、トイレにも分かり易く表示し又、混乱を招きやすい非常ベルや危険な物には布や造花等で覆う等の工夫をしています。	○	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダの設置がないので1階駐車場入り口のスペースを利用し日光浴を楽しんだり、家庭菜園コーナーでの草取り、水まき洗濯物干しの活動ができるようにしています。	○	

事業所名: #REF!

V. サービスの成果に関する項目		
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③たまにある
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

グループホーム

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の医療的な側面を各種病院と連携して重点的に取り組んでいる。